

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2011年7月15日	
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足1-10-1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 村田土地建物 株式会社 代表取締役社長 藤田能孝	
環境マネジメントシステムの名称		ISO14001:2004	
適用範囲		株式会社 村田製作所 本社 ほか 60箇所	
導入年月日		2006年 3月 20日	
認証番号		724100	
基本方針		私たちは、人類社会の真の豊かさを願ってセラミックスの特性を活かした電子材料・電子部品を主として開発・生産し、世界に供給しています。しかし、事業活動や製品そのものが、意図せずに地球環境に影響を与え、結果として生物多様性にも何らかの影響を与えていることは否めません。 この影響を真摯に受け止め、創業の理念である社是の実践行動の一つとして、全組織を挙げて環境負荷の低減に取り組めます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）		温暖化防止：目的 本社ビルCO2排出量を08F実績比2%削減 ：目標 本社ビル全体のCO2排出量を08F実績の4%削減 省エネ活動によるCO2排出量削減施策の実現と把握	
目標を達成するための取組の内容		温暖化防止：施策手段（行動内容） 1. 冷房、暖房負荷の低減 2. 熱源設備の効率運転 3. 搬送動力の節約 4. 運用管理 5. 過去から継続する省エネにおける運用	
目標を達成するための取組の進捗状況		現状において当初予定通りに進捗した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価		当初の計画より未曾有の猛暑によりエネルギー使用は増加したが、原単位（在籍人員）当りでは計画のCO2排出量を下回ることができた。実質的には電力会社の換算係数を利用すると大幅な削減となっている。	
事業活動に係る法令の遵守の状況		関連法令の遵守状況について定期的に確認を行っている。 監査および行政当局から違反の指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容		村田製作所では環境に関する中期計画である環境行動計画を定期的に見直している。昨年度は第4次環境行動計画の最終年度であったため、活動実績を評価し、第5次環境行動計画に向けて全面的に見直しを行った。今年度以降は第5次環境行動計画の達成のために毎年、目標・活動内容について評価・見直しを行う。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。